

《ヘルスプロモーションを活用した地域課題解決システム》

“元気づくりシステム” ～基本と原則～

【ミッション】

民間パワー(自助・共助)と自治体(公助)とのコラボレーションにより
住民エンパワメントを育成し、地域課題を解決する。

“元気づくり体験”

《基本と原則》

皆で科学・生理学的に根拠のある
身体活動を確実に行うことで、
元気になりたい元気でいたい、
さらにはライフスタイルとして
楽しみたいとする「QOL」の概念
を、住民が横断的に共有する。



システム運用でQOL
(QOS)を実現しやすく

“システムコーディネート”

《基本と原則》

自治体または自治体から信頼される民間パ
ートナーが、自助→共助への初期介入から
共助と公助の進化、進展に適応する介入まで
地域住民とともに“元気づくり体験”
をライフスタイルとして取り入れ楽しみ
価値を共有する。そして目的を見失わず
支え育む環境を“元気づくりシステム”
として整え、システムティックに運営する。

- 集会所コース
- ・6か月介入コース

QOS

基本と原則

【エンパワメント】

地域住民による
地域住民のための
豊かな地域づくり

“自治体としての政策”

《基本と原則》

“元気づくりシステム”によって引き出された
地域住民のパワーを、民間パートナー(不採算部門
そして非営利部門を付託された)と自治体が
協働しベクトルを合わせることで、山積する
地域課題の解決にチャレンジする。

《例》

- 医療・・・在宅医療化推進
- 介護
- 子育て
- 災害
- 見守り他

【共有化・協働化】

まいまい
運動
(準備・整理)

3種の
神技

5呼吸
10種の
ストレッチ

球技の基本技

【共有化・協働化】

- 元気リーダーコース

・永続的自主活動コース:週2回

- 継続へのフォローコース

・駅コース(年4回介入)

・情報交換会(隔月介入)

・3か月介入コース(いきいき元気リーダーコース)

・不定期見守り

・その他(拠点コース等)

【共有化・協働化】